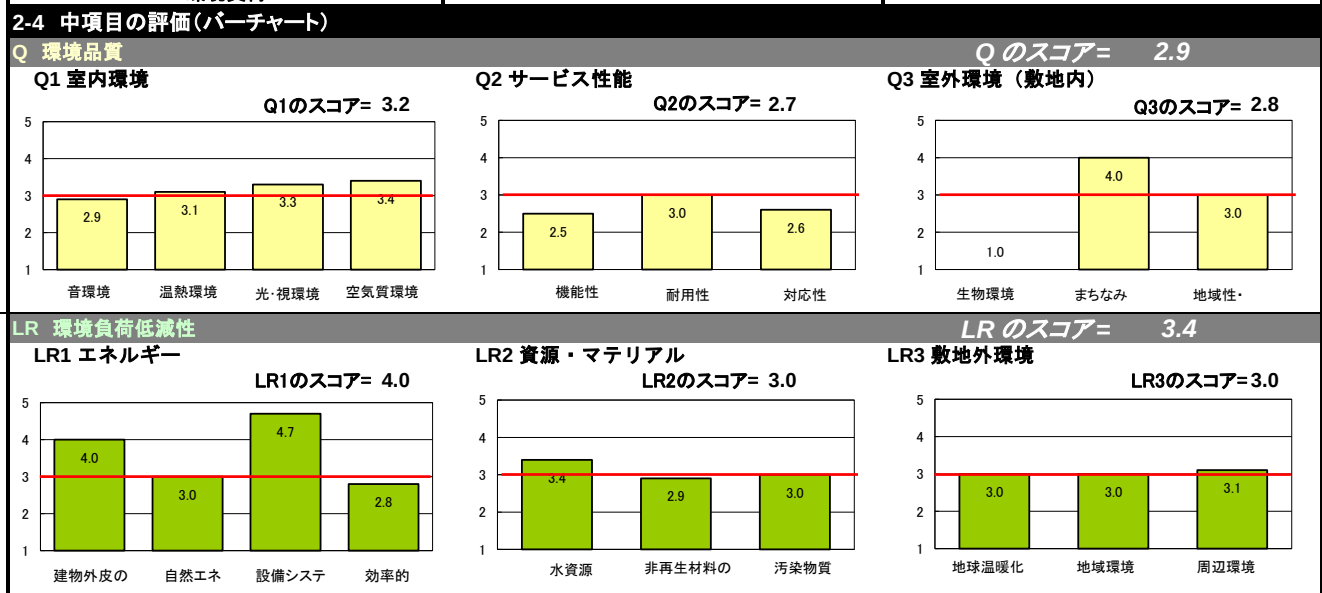
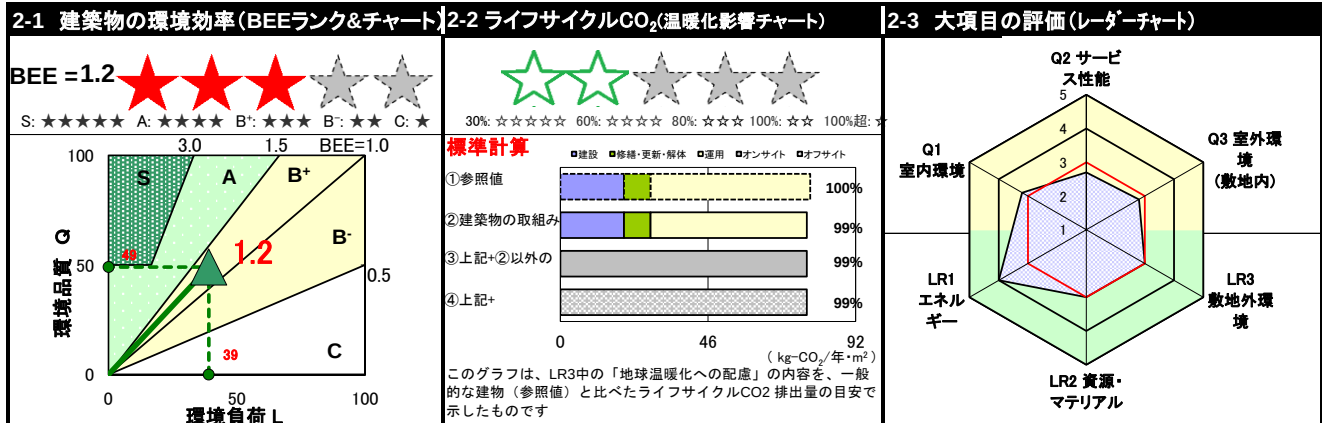


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)高砂駅前賃貸マンション新築工事	階数	地上9F
建設地	高砂市高砂町浜田町1丁目1番2、1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	69 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年11月8日
敷地面積	744 m ²	作成者	株式会社 横山建築事務所
建築面積	327 m ²	確認日	
延床面積	2,376 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
室内環境は、断熱性や遮音性に配慮し入居者にとって快適な空間となるよう配慮した。また、敷地内には緑化を行うことで、熱負荷抑制を図った。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
遮音・断熱性に配慮した。 「ライフサイクルCO ₂ 」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと	劣化対策等級3相当とし、配管は耐用年数の長いものを採用するなど、建物の長寿命化・更新性を考慮した計画とした。	周辺の環境に圧迫感を与えないよう、ページュを基調としたシンプルなデザインとした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱等級4相当とし、建物の外皮の熱負荷抑制を図った。	節水型便器などを採用し、水資源の保護に配慮した計画とした。	敷地外環境へ悪影響を与えないために、各種基準を満たすよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される